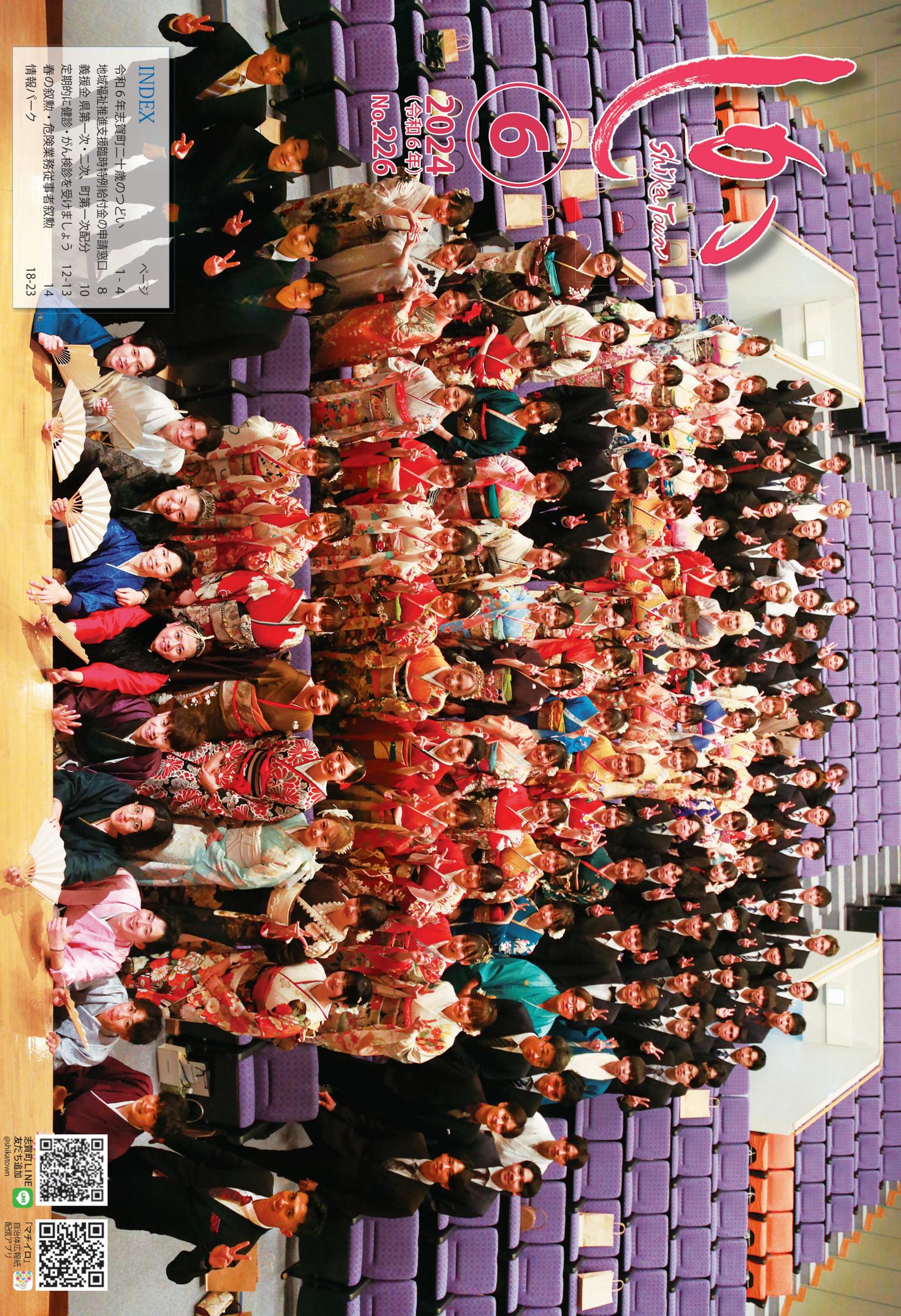


Shika Town

6

2024
(令和6年)
No.226

INDEX	ページ
令和6年志賀町二十歳のつどい	1-4
地域福祉推進支援臨時特例給付金の申請窓口	8
義援金 県第一次・二次、町第一次配分	10
定期的に健診・がん検診を受けましょう	12-13
春の叙勲・危険業務従事者叙勲	14
情報ページ	18-23



志賀町LINE
友だち追加
@shikatown



マイページ
自治体公式紙
配信アプリ



晴れ着姿に身を包み 176人が新たな門出



1



5



2



6



3



7



4



司会を務める中林由季さん[㊦]と木谷朱里さん[㊧]

5月4日(土)、志賀町文化ホールで「二十歳のつどい」が行われました。地震の影響で延期となっていたもので、約4カ月遅れの開催となりました。

令和5年度に20歳を迎えたのは、平成15年4月2日から平成16年4月1日生まれの176人で、晴れ着姿に身を包んだ140人が出席しました。

式典の冒頭、地震の犠牲者に黙とうをささげました(写真1)。また、西田昭二衆議院議員を始め、多くの来賓が二十歳の節目を祝福。大野万由子さんと松谷萌々佳さんが、県知事祝辞を代読し(写真2)、奥矢教介さんが稲岡町長から記念品を受け取りました(写真3)。萬年俊行さんは「ふるさと志賀町に生まれ育ったことを誇りに大人としての自覚を持って歩んでいきたい」と謝辞を述べ(写真4)、花島涼太さんと星場麗羽さんが、二十歳の決意を宣誓しました(写真5)。

また、人気ボーイズグループ・J.O.Iから届いたお祝いのメッセージ動画も上映されました(写真6)。最後に、出席者全員で、20年間育ててくれた保護者に対し、感謝を伝えました(写真7)。





⑧旧友との再会に笑顔がこぼれる ⑨～⑩旧友や家族との記念撮影を楽しむ ④町議会による「将来、志賀町に住みますか？」アンケートに答える ⑮14歳の立志式で自分宛てに書いた手紙を受け取り笑顔 ⑥式に駆け付けた恩師と記念撮影する富来中学校の卒業生



笑顔

平山 祐雅さん (高浜地区)



どこまでも突っ走る!!
くろは@

星場 麗羽さん (上熊野地区)



誠実にして
社会に役立つ人間

舩岡 諒汰朗さん (高浜地区)



自分を大事に!

中林 由季さん (富来地区)



一人一人に寄り添う
管理栄養士になる。

木谷 朱里さん (福浦地区)



一切順利

大葉 一貴さん (高浜地区)



素敵な英語の先生になる

大野 万由子さん (堀松地区)



みんなから頼りにされる
社会人になる

奥矢 教介さん (土田地区)



楽しく生きる!

福塚 悠人さん (東増穂地区)



素敵なお嫁さん
♥

南 花恋さん (堀松地区)



父のような人になる

池田 盛隆さん (堀松地区)



自分の好きなことをして
生きていく!

柴田 奏琉さん (中甘田地区)



自由に生きたい!!
~

山海 葵さん (富来地区)



仕事に慣れること

江下 優真さん (高浜地区)



ステキな大人になる!

松谷 萌々佳さん (中甘田地区)



楽しく生きる

地下 郁人さん (富来地区)



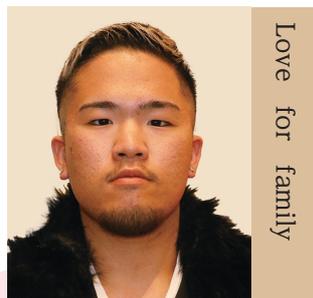
健康に生きる

萬年 俊行さん (堀松地区)



社会人を頑張る!!

桜井 美咲さん (上熊野地区)



Love for family

永江 隆和さん (高浜地区)



宇宙飛行士

花島 涼太さん (加茂地区)

がんばろう志賀！がんばろう能登！

ピカチュウが町内の 保育園・幼稚園を訪問



このピカチュウ訪問は、ポケモン・ウィズ・ユー財団による災害支援の一環で、これまでも「ポケモンといつもいっしょ くせいかつおうえんブツクル」を配付したり、こどもの日の北國新聞折り込みで「ピカチュウかぶと」を掲載。今後も、被災した子どもたちに笑顔を取り戻してもらうための活動を継続的に行ってまいります。

園児や職員はピカチュウのサンバイザーをかぶり、クイズに答えたり、一緒に踊ったり、記念撮影をして楽しく過ごしました。また、園児にポケモングッズがプレゼントされました。

ハグッ♡



4月4日(木)



災害支援をしてくれたトヨタ自動車(株)の佐藤恒治社長ら5人が、役場本庁舎を訪れました。

震災後、町はトヨタ自動車(株)から給水タンクの提供や、避難所外避難者への物資配達仕分け搬出作業の改善などさまざまな支援を受け、稲岡町長は感謝の言葉を述べました。佐藤社長は「少しでもお役に立てばうれしい。こちらも多く学びがあった」と話しました。また、愛知県から派遣されている災害応援職員からも話を伺い激励しました。

今後もトヨタ自動車(株)から引き継いだノウハウを生かし、復興に向けて支援を進めていきます。

5月11日(出)



復興イベント「Pray for Japan 2024 石川県能登半島被災地訪問プロジェクト」が道の駅とき海街道で開催されました。主催の駐日ベトナム大使が能登半島地震の義援金を稲岡町長に手渡しました。ラーメンの炊き出しや大食いアイドルもえのあずきさんらによる歌のステージや地元太鼓演奏が繰り広げられました。

また、増穂浦海岸を望む観光名所「世界一長いベンチ」が約半年の改修工事を終え、復興イベントの中でオープニングセレモニーが開催されました。日本公園施設業協会の「出張遊具コーナー」もベンチ横に設置され、人気を集めました。

ベンチは1987年に作られ全長460.9m。老朽化やペンキの色落ちが著しかったため、14年ぶりに大規模改修しました。新しいベンチの長さは変わりませんが、座面を全て県木のアテに張り替え、背もたれはなくし、後ろにある手形陶板を見やすくしました。国道249号沿いとベンチ横の看板は町と連携協定を結ぶ金沢美大の学生がデザインしました。

稲岡町長は「ベンチから眺める夕日は町が誇る観光資源。たくさんの人に来てほしい」と期待しました。



広がる支援の輪

Fight!

がんばろう! 志賀町



4月3日(水)



B & G財団の『がんばろう能登半島! B & Gわくわく水上運動会for志賀』が、鶴来B & G海洋センター(白山市)で開かれ、志賀町の児童43人が水遊びを楽しみました。プール内で玉入れや鬼ごっこ、水上トランポリンなどの遊具で遊び、歓声を上げていました。被災地の子どもたちが元気に遊べる場を提供しようと、全国のB & G海洋センターに寄せられた支援金で招待されました。



5月9日(木)



建設業などを手がける「SAIグループホールディングス」(福岡)は、能登リゾートエリア増穂浦に木製のコンテナハウス1台を寄付しました。「CLTセルユニット」を活用し、作業員3人が2日間で設置。最大10人が宿泊でき、災害ボランティアの拠点として運用します。コンテナハウスは2部屋あり計30畳。シャワー室を備えています。社員から目録を受け取った稲岡町長は「宿泊施設がまだまだ不足している。多くの人に利用してもらいたい」と期待しました。

